生涯学習まちかど講座

「携帯電話の使用について」

９月４日（土）に相原小学校を会場として、相模原市生涯学習まちかど講座を実施しました。

今回は、「携帯電話やインターネットの危険性から子どもたちを守るためにどうするべきか」をテーマとし、情報安全モラルについて学習を深めました。

参加者からは、「携帯電話を子どもたちに持たせるときに、どのようなルールを決めればよいか、難しいが考えていかなければならない。」などの意見が出されました。

終わりには、子どもたちのトラブル回避のため、学校と家庭が十分連携を図り、健全な生活が保てるようにしていくことが必要であると、参加者全員で確認しました。

さがみはら教育１５０号　予告

特集テーマ　**「学校の情報化を考える」**

今日、パソコン、インターネット、電子メールなど、ＩＣＴ（情報通信技術）を利用したものが、私たちの日常生活に当たり前のように存在するようになりました。また、学校ではＩＣＴを活用して子ども同士が教え合い学び合いながら、学習内容を理解しやすい授業の実現や児童生徒の情報活用能力の向上が求められています。

さがみはら教育１５０号は、【学校の情報化を考える】を特集テーマとし、さがみはら教育１３１号（平成１３年７月発行）の、特集「相模原の情報教育はどう変わる」で明らかにした、１０年前の子どもの描いた情報教育の姿を現在の姿と比較し、子どもとＩＣＴとのかかわりがどのように変化したかを調査・分析するとともに、これからの姿も考えてみたいと思います。また、普通教室における授業や子どもたちの活動において、ＩＣＴをどのように活用しているかを調査し、学校のＩＣＴ化に向けた環境整備が、学校をどのように変えていく可能性をもっているのかを考えていきたいと思います。

平成 22 年度公開講座「外務省研修所」コース

Ｅｎｊｏｙ！地球の旅人

～イスラエルに在勤して～

109 名の受講者が、外務省研修所長・前イスラエル国駐箚特命全権大使　鹿取克章氏によるイスラエル在勤当時の有意義なお話をききました。

変化にとんだ自然、明るい屈託のない人々、様々な歴史的遺産、生活に息づく伝統、進んだ科学技術といったイスラエルの様々な魅力を、映像をまじえて紹介してくださいました。

同時に、イスラエルが抱えている多くの困難な課題も改めて知ることができました。これから友好を深めていくために私たちは何ができるのか。イスラエルの多くの魅力に触れ、考えさせられます。

しばしの時間、イスラエルを旅した気分になりました。

来年はどこの国に旅することができるでしょうか。

今から楽しみです！

平成 22 年度公開講座「国民生活センター」コース

創立４０周年を迎えた

国民生活センター

今年度は、創立４０周年を迎えた国民生活センターの記念イベントにあわせた公開講座を行いました。

４０周年記念イベントでは、国民生活センター東京事務所からの生中継で、畑村洋太郎先生「危険学に学ぶ消費者の安全」の講演と、消費者庁長官・前全国消費者団体連絡協議会事務局長・消費者関連専門会議理事長をパネリストに迎え、「消費者問題この１０年、これからの１０年」をテーマにパネルディスカッションが行われました。畑村先生の講演は、様々な事故事例をもとに、生活して行く上でどうすれば危険の発現を防ぐことができるかをわかりやすくお話していただきました。

最後に、毎年恒例となっている国民生活センター相模原事務所の商品テスト施設見学を行いました。

国民生活センターで行われている、商品テスト・苦情相談・情報発信で私たちの生活が守られていると実感します。